

令和2年度福岡大学外部評価結果

福岡大学外部評価委員会では、福岡大学における令和2年度自己点検・評価の一環として、当該大学が行う教育・研究活動をはじめとした諸活動の適切性について、各学部・研究科及びその他の部局の状況を自己点検・評価推進会議が全学的な観点で点検・評価し、取りまとめた「令和2年度福岡大学自己点検・評価結果報告書」をもとに、第三者の視点から評価を実施した。

なお、外部評価委員会として、特に評価できる点を「長所・特色」、特に改善に向けた取り組みを必要とする事項を「課題・問題点」として抽出した。主な内容は以下のとおりである。

章	長所・特色	課題・問題点
第1章 (理念・目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の精神のステークホルダーの理解促進を図るために工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期計画を推進するための具体的な取り組み（指標やアクションプランの策定等）が十分ではない
第2章 (内部質保証)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公式ウェブサイト等で大学の情報を積極的に公表している（FUKUDAISMの公開・新型コロナウイルス対策の公表） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学部・大学院ともに、3つのポリシーの定期的な検証が十分に行われていない ・ 学部・研究科のポリシーと学科・専攻単位のポリシーの整合が取れているとは言えない
第3章 (教育研究組織)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「福岡大学ものづくりセンター」を設置し、学生の主体的活動を支援することで、ものづくりに係る力を育成している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育研究組織の定期的な点検・評価が十分でない
第4章 (教育課程・学習成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高大接続に係る初年次教育等の充実を図っている ・ 双方向型授業など、授業方法を工夫している ・ 全学的な授業アンケートにより、学生の学習成果を把 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学院の学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針について、学位ごとに設定されていない研究科があり、同方針に基づく定期的な検証が行われていない

	<p>握し、その結果を教育改善に活用している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育プログラムごとの履修系統図（カリキュラムツリーやカリキュラムマップ）を作成している 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外との単位互換を見据え、ナンバリングの実施が望まれる ・大学院の教学マネジメント体制が十分に機能しているとは言えない（主要会議体の開催頻度が低い）
<p>第5章 （学生の受け入れ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入試関連情報を積極的に公表している ・多様な入試制度を導入している ・ルーブリックの導入による面接評価の標準化を図っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の研究科において学生の受け入れ方針が明確でない。 ・学生の受け入れ方針に係る定期的な検証が十分に行われていない ・複数の研究科において、収容定員未充足が常態化している ・社会人や外国人留学生への受け入れへの対応が十分とは言えない
<p>第6章 （教員・教員組織）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全学的な授業アンケートを実施し、その結果を活用している 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部・研究科単位の「求める教員像および教育組織の編成方針」が未策定であり、同方針に基づいた点検・評価が実施されていない
<p>第7章 （学生支援）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生からの相談対応が充実している（HDセンター・法律事務所等の活用） ・障がいのある学生への支援が充実している（担当教員・ボランティア学生の協力、授業動画の文字起こし等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における学生のこころのケアに対する持続的な支援が望まれる ・学生支援に係る取り組みについて定期的な点検・評価が十分に行われていない ・大学をあげた体系的なキャリア教育が十分とは言えない

第8章 (教育研究等環境)	<ul style="list-style-type: none"> 外部資金獲得に向けた産学官コーディネーターによる研究者と企業との橋渡しに取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 学部以外に所属する教育職員の研究活動に係る支援が十分とは言えない(サバティカル制度の活用等)
第9章 (社会連携・社会貢献)	<ul style="list-style-type: none"> 学部横断的研究ブランディング事業「福奏プロジェクト」を実施している 総合大学として多様な専門性や特色を生かした様々な地域連携・地域貢献活動に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 社会連携に係る組織的な活動が十分とは言えない コロナ禍における地域連携活動が十分とは言えない
第10章 (大学運営・財務)	<ul style="list-style-type: none"> 事務職員を対象とした体系的なSDを実施している 財政基盤確立に向けた病院の経営改革等に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的・体系的な教育職員のSDを行うための体制整備が十分でない

以上の点を踏まえ、今後更なる教育研究活動の質の向上を図り、貴学の「建学の精神」及び「教育研究の理念」の実現に向けて、取り組んでいただきたい。

令和3年5月7日

福岡大学外部評価委員会

委員長 内村直尚

(学校法人久留米大学 理事・学長)

委員 高木直人

(公益財団法人九州経済調査協会 理事長)

委員 中村英一

(福岡市副市長)

委員 丸野俊一

(国立大学法人九州大学 前理事・前副学長)